教育目標：豊かな心をもち、実践しようと努力する子
～かしこい子【知】　やさしい子【徳】　げんきな子【体】～

愛東だより

重点目標：夢に向かって自ら『考動』し、自分の未来を切り拓く子ども
ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ：「自分パワー」＆「なかまパワー」で 夢や目標に向かって前進

令和８年度
旭川市立愛宕東小学校
学校だより　第６号



令和８年９月３０日（水）
発行

未来を担う子どもたちのために 今できること

校長　清　水　忠　明

４ 月２３日に実施しました全国学力・学習状況調査（6 年生対象）の本校の結果の概要についてお知らせ（裏面）いたします。本校においては今回の調査結果を６年生のみの成果・課題としてではなく、学校全体のものとして受け止め、今後全学年を通して指導の改善を進めてまいります。

さて、その児童質問紙の結果で気になる項目がありました。

（４）普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
２時間以上視聴　⇒　本校　７１．６％　北海道　６３．３％　全国　５７．６％

この結果から分かる通り、家庭において SNS や動画を視聴する時間が長い子どもが全国に比べて多くなっています。また、７月に実施した中間評価「家庭でスマホやゲーム等のメディアを使用するとき、約束事を守り、 正しく使用していますか？」(児童・保護者)においても心配な結果が出ています。

ここ数年、子どもたちが電子メディアと関わる時間が長くなっていることは、大変憂慮すべき状況です。３年前、諏訪清隆医師（旭川赤十字病院　小児科部長）による「電子メディアが子どもたちに与える影響～子どもたちのために大人に知ってほしいこと～」と題した講演会を拝聴する機会がありました。その中で諏訪医師は、学力とメディア接触の関係について触れ、令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の結果から、北海道の子どもたちがゲームの長時間使用で全国 1 位、携帯電話・スマホの長時間使用で全国２位と電子メディアに接触する時間が長くなっており、そのような状況にある子どもほど平均正答率が低くなっていることを説明しました。これは単に学習時間が少なくなるということだけではなく、子どもたちの心身に様々な影響を及ぼしていることを指摘されています。パソコンやスマホを長時間見ることにより神経が過度に刺激され、常に興奮し疲れた状態やイライラしたり、注意力が散漫になったりします。また、「考える」「記憶する」「感情をコントロールする」「判断する」など、人間にとって重要な働きを担う前頭葉への血流が減り、発達が阻害されていくことについても説明がありました。

成長段階にある子どもたちの健康を守ることは、私たち大人の使命です。今後、子どもたちは、この電子メディアと関わらずに生きていくことは困難でしょう。だからこそ、自分に必要なものを選択し、リスクから自身の健康を守ることができるよう、学校と保護者が連携して正しく教え、見守っていく必要があります。講演の最後に諏訪医師より「メディア対策の目的」「お願いしたいこと」についてお話がありました。今後、電子メディアの使用について、家庭でルールなどを作る際の参考にしてください。

《メディア対策の目的》禁止や制限は必要。でもそれが目的ではない。
・子どもの発達、成長、健康への悪影響が出ないよう見守り、コントロールする。
・子どもたち自身が自立して行動ができるようサポートする。
《お願いしたいこと》
・大人が正しい知識をもって手本となる。・あなたの体への影響が心配と伝える。
・メディア使用を見直すきっかけをつくる。・ルールにはペナルティーをもりこむ。

１０月の主な行事予定

１日（木）： 街頭指導、視力検査（３・４年）
２日（金）： 東っ子タイム(認証式・ｽﾛｰｶﾞﾝ)、視力検査（1･2年）
５日（月）： 視力検査（５・６年）体育館開放中止（5~6 日）
６日（火）： 臨時休業日（旭川市教育研究大会）３－２授業
７日（水）： 二計測（３・４年）、バスレンタル事業（１年）
８日（木）： 二計測（１・２年）
９日（金）： 委員会⑦、学習発表会特別日課（～２４日）、体育館開放中止（～26 日）
１２日（月）： スポーツの日
１３日（火）： 二計測（５・６年）、学習発表会座席くじ引き
１４日（水）： スクールカウンセラー来校日
１５日（木）： 諸費引落日（4.6 年）、移動彫刻展搬入（~11/12）
１９日（月）： 校内絵画展(~１１/20)
２０日（火）： 学習発表会総練習（１～３年生）
２１日（水）： 学習発表会総練習（４～６年生）
２４日（土）： 学習発表会
２６日（月）： 振替休業日
２８日（水）： 就学時健康診断（13:50~）
1,2,3 年生～４時間授業
３０日（金）： 委員会⑧

全国学力・学習状況調査の結果について

【国語】調査結果と今後の取り組み

＜強み・伸びているところ＞

・**話し合いの構成やアイデア出し**～話の順序を工夫したり、目的や図・メモに合わせて必要な情報を見付けたりする問題で、全国を大きく上回る高い正答率でした。

＜課題・これから伸ばしたいところ＞

・**資料や言葉の効果を考えた表現力**～動画や音声などの資料を活用した表現の工夫や、比喩・反復などの効果を読み取る問題で、全国より低い傾向が見られました。

・**情報を引用して自分の考えを書く力**～メモなどの集めた情報から必要な言葉をそのまま抜き出し、自分の意見と組み合わせ直して書く記述問題で苦戦が見られました。

＜学校の改善策とご家庭でできること＞

・**【学校での取り組み】** 文章や資料（図・動画）から言葉を正しく引用して書き表す学習や、表現の工夫（比喩など）がどんな効果をもつのかを考える授業を増やします。

・**【ご家庭でのご協力】** 漢字（特に「ふしぎ」などの間違えやすい漢字）の定着には日常の復習が大切です。日記や読書感想などで「どこからそう思ったの？」と根拠を振り返る声をかけることも、記述力の向上につながります。

【算 数】調査結果と今後の取り組み

＜強み・伸びているところ＞

・**分数の大きさ比べや理由の説明**～分数の大きさを比べてその理由を言葉で説明する問題では、自分の考えを筋道立てて書く力が伸びています。

・**基本計算やグラフの読み取り**～小数の引き算や帯グラフの読み取りなど、基本的な計算や資料活用も着実に定着しています。

＜課題・これから伸ばしたいところ＞

・**「～倍」や「割合」を図でイメージすること**～「1.5 倍」といった関係を線分図などの図から正しく選ぶ問題で苦戦が見られました。

・**体積の意味を理解して日常生活で使うこと**～公式を使った計算はできますが、「1cm³の箱が何個分あるか」を考えたり、箱のサイズから宅配便の送料の求め方を説明したりする問題に課題が見られました。

・**複数の表から間違いを見付けること**～2 つの表を見比べて集計の間違いを探し、根拠を説明する問題で全国を下回りました。

＜学校の改善策とご家庭でできること＞

・**【学校での取り組み】** 文章問題を解く際に「図や絵を描いて関係を整理する」活動や、「なぜその式になるのか」を言葉で説明する学習を全学年で強化します。

・**【ご家庭でのご協力】** 買い物や料理の際に「どっちが何倍くらい大きいかな？」「何個分あるかな？」など、身の回りの数量や図形に触れ合う会話をぜひ取り入れてみてください。

【児童質問紙】生活・学習習慣に関する調査結果と今後の取り組み

＜強み・伸びているところ＞

・**授業の学びを生活に生かす力・ICT 活用**～「授業で学んだことを次の学習や生活に生かす」や、「タブレットで文章作成や情報収集ができる」という質問で、全国を大きく上回る高い回答率でした。

・**先生や友達との良好な関係**～「困りごとを先生や学校の大人に相談できる」など、安心して学習や生活に取り組める環境が整っています。

＜課題・これから伸ばしたいところ＞

・**平日の家庭学習時間と読書習慣**～平日（月～金）の学校外での学習時間が「全くしない・30 分未満」の割合がやや高く、読書（教科書・漫画を除く）をする時間が短い傾向も見られます。

・**算数に対する苦手意識**～算数の授業内容は理解できている一方で、「算数が好き・得意」と答えた割合が全国を下回っており、自信の向上に課題があります。

＜学校の改善策とご家庭でできること＞

・**【学校での取り組み】** 自分で見通しをもって取り組める自主学習の進め方を指導し、算数では「わかった！」が増える丁寧な授業づくりを進めます。

・**【ご家庭でのご協力】** 前回の学校評価についてでも共有させていただきましたが、ご家庭での、机に向かう「学習タイム」や「読書タイム」を日常のルーティンにする声かけ・環境づくりへのご協力をお願いいたします。